

授業科目名	保健体育VI	必修	開講年次	3	単位数	1
科目区分	保健体育科目					
サブタイトル	スポーツ実技		担当者	増澤 拓也		
講義概要	<p>【概要】</p> <p>バスケットボールの実践を通して、スポーツ技術の基礎を学習し、遵法精神や規範精神、集団活動におけるチームワークやリーダーシップの重要性を理解し、実践する。スポーツ活動を通して、運動の楽しさや、健全な“こころ”と“からだ”を促進させる生涯スポーツの必要性を理解する。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットの高度な個人技能、及び集団技能・戦略を習得する</li> <li>・バスケットボールの運営法を習得し、審判・運営ができるようになる</li> </ul>					
履修条件	スポーツ法コースの学生を対象とする					
教科書・参考書	<p>【教科書】 必要に応じて資料等を配布する</p> <p>【参考書】 必要に応じて資料等を配布する</p>					
授業回数	内容					
1	オリエンテーション					
2	バスケットボール（シュート）					
3	バスケットボール（シュート）					
4	バスケットボール（パス）					
5	バスケットボール（パス）					
6	バスケットボール（ドリブル）					
7	バスケットボール（ドリブル）					
8	バスケットボール（ボールハンドリング）					
9	バスケットボール（3on3）					
10	バスケットボール（3on3）					
11	バスケットボール（3on3）					
12	バスケットボール（テスト）・					
13	バスケットボール（ゲーム形式）					
14	バスケットボール（ゲーム形式）					
15	バスケットボール（ゲーム形式）					
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況・授業態度・技能テストにより総合的に評価する</li> <li>・実技を中心とした授業であるので、特に出席点を重視する</li> </ul>					
評価基準	<p>上記授業単元の内容について、概略を理解した者については「C」とし、各基礎技能を獲得し試合等で発揮できる者については「B」、さらに、技能・戦術の基本構造を理解し、適切に指導できる者については「A」とする。単元の内容についての理解自体が不十分な者についてはその程度に応じて「D」または「E」とする。</p>					
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ実技の際、服装やシューズに不備のある場合は参加を認めない</li> <li>・私語などにより授業を妨げる場合は即刻退室を命じ、以降の受講を認めない</li> </ul>					